2007 年 12 月
インフォプリント・ソリューションズ・ジャパン株式会社

InfoPrint 5577 / InfoPrint 5579 ネットワーク機能 補足説明

このたびは InfoPrint 5577 / InfoPrint 5579 シリアル・プリンターをご購入いただき、ありがとうございました。

ここには InfoPrint 5577 / InfoPrint 5579 シリアル・プリンター付属のサポートCDに記されていない追加説明が記述されています。設置前に必ずご一読の上、サポートCDとともに保管していただきますようお願いいたします。
この補足説明書では、Windows2000/XP使用時におけるプリンター・ポートの設定について記述しています。Windows2000/XPでのご使用時には、Windows2000/XP標準の3種類のプリンター・ポートが使用できますが、本製品では LPR PORT(UNIX印刷サービス)でのご使用をお勧めします。

1. **LPR PORT (UNIX用印刷サービス)およびLPR Remote Print(LPRポート)の使用時におけるご注意**

   LPR PORT (UNIX用印刷サービス)、および同梱のユーティリティソフトウェア LPR Remote PrintのLPRポートをご使用の場合、11個を超える複数ジョブ(12個めのジョブ)の印刷が遅れるという現象が発生する場合があります。この問題は、WindowsNT/2000/XPにおいて、LPRで利用できるポート数に制限があるためです。その場合には、Windows上のレジストリを変更することにより、修正することができます。このレジストリの変更方法につきましては、マイクロソフト社の下記ホームページをご参照ください。

   http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;179156

   また、Windows MeにてLPR Remote Print(LPRポート)をご使用の場合も、同様に12個めのジョブに遅れが出る場合がありますが、同様のレジストリの変更にて修正することができます。

   ⇒ LPR PORTにおけるプリンターの作成については、サポートCDに収録されている ネットワーク設定ガイド 第4章内の「Windows 2000/XPのLPR PORTで印刷する」をご参照ください。

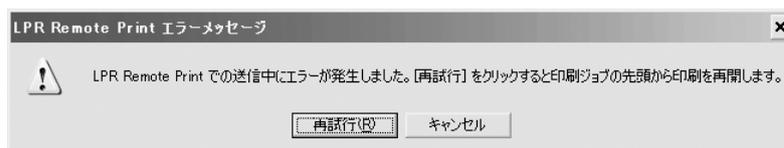
2. **Standard TCP/IP ポートでLPRを使用時におけるご注意**

   Windows2000/XP の Standard TCP/IPポートで、LPRの機能を使用した場合に、ネットワーク環境の品質による送受信の遅れに起因するWindows側のタイムアウトが生じることがあり、その結果ジョブの再印刷が起きる場合があります。そのような場合には、LPR PORT (UNIX用印刷サービス)をご使用ください。

3. **Standard TCP/IP ポートでのSNMP使用時におけるご注意**

   Windows2000/XP の Standard TCP/IP ポートで、SNMP機能を使用した場合に、印刷起動に時間がかかる場合があります。これを回避するには、「SNMPステータスを有効にする」のチェックを外し、SNMP機能を無効にしてください。プリンター・ステータスの監視を行う場合は、SNMPではなく同梱のユーティリティソフトウェア InfoPrint Network Monitorをご使用ください。

4. **Standard TCP/IPポートおよびLPR Remote PrintでのRAWプロトコル使用時におけるご注意**

   本製品のRAWポート接続の最大セッション数は8です。9個のジョブが連続するような場合、または9ユーザー以上が同時に印刷を起動する場合、プリンターは8セッションを超えて接続を要求したデータ／ユーザーに対しエラーを返します。この場合、同梱のユーティリティソフトウェア LPR Remote PrintのRAWポートをご使用の場合は、以下のメッセージが表示されます。

   この表示が出た場合、セッション数が7個以下になった段階で「再試行」をクリックすることにより、印刷を再起動することができます。

   また、Standard TCP/IPをご使用の場合で同条件が発生した場合は、タスクトレイにあるプリンターアイコンにエラーが表示されます（OSの種類によっては、エラーメッセージを表示する場合もあります）。

以　上

BM02940